

実践型地域雇用創造事業の実施事例

～四万十市(高知県)～人口35,933人【事業実施期間:平成24年7月～平成27年3月】

地域課題

- 日本最後の清流「四万十川」などの観光資源や多品目の農産物、四万十ヒノキ等の豊富な地域資源が存在しているが、これらを活用できるノウハウを持った人材が不足しており、高付加価値商品の開発やブランド化が遅れている。
- 付加価値を付けた特産品を開発し、産業の振興、雇用の拡大を図ることが課題。

具体的取組

1. 地域の企業や求職者を対象に、地域課題解決に必要な人材を育成

人材育成事業等

- ・食品加工技術力向上
- ・販売・企画力向上
- ・商談能力向上等のセミナーを開催

育成した地域求職者を雇用

2. 育成した求職者を直接雇用し、地元食材を利用した新商品開発・販路拡大等を実施

四万十商品開発販売促進事業

- ・協議会が協力企業を公募し協同で特産品開発
- ・販路拡大・PR等の事業を展開

3. 開発した商品を地域に還元し、経済活性化、雇用創出

(例) 米粉和風ドーナツ 四万十美女と野獣ラーメン

開発品の提供



- ・商品販売による経済活性化
- ・地元企業における雇用拡大の波及的効果

成果・効果

- 平成24年度においては、協議会と協力企業の協同開発により、「米粉和風ドーナツ」「四万十美女と野獣ラーメン」「入浴剤」など7品目を開発し、地域へノウハウを公開。このうち3品目について、地元企業が商品化し、当該企業において5名の新規雇用が生まれた。
- また、平成24年度に人材育成事業等として実施した各セミナーにおいても、35名の受講者が就職・創業に繋がった。

実践型地域雇用創造事業の実施事例

～うるま市(沖縄県)～人口116,979人【事業実施期間:平成24年7月～平成27年3月】

地域課題

- 市の特産品、名産品、観光土産品等の販売所がほとんどなく、通過型観光となっており、地域における観光関連産業が根付きにくい状況があるため、抜本的な振興策を推進する必要。
- このため、観光土産品や観光商品を開発するとともに、これら商品の販路拡大を行うことにより、地域経済の活性化、雇用の拡大を図ることが課題。

具体的取組

1. 地域の企業や求職者を対象に、地域課題解決に必要な人材を育成

人材育成事業等

- ・観光人材育成
- ・情報サービス人材育成等のセミナーを開催

育成した地域求職者を雇用

119名が就職(創業含む)

2. 育成した求職者を直接雇用し、地元食材を利用した新商品開発・販路拡大等を実施

観光物産商品化サポート事業

- ・マーケティングリサーチ
- ・商品開発
- ・試食会、開発商品のブラッシュアップ等の事業を展開

3. 開発した商品を地域に還元し、経済活性化、雇用創出

(例) 津堅にんじんロール



開発品の提供

- ・商品販売による経済活性化
- ・地元企業における雇用拡大の波及的效果

成果・効果

- 平成24年度においては、うるま市の特産品の状況を把握するためのマーケティングリサーチを行い、開発する素材を決定。開発した商品は、計9回に及ぶ試食会等を経てブラッシュアップの後、地域へノウハウを公開。開発した商品のうち「津堅にんじんロール」においては、地元企業が商品化し、当該企業において2名の新規雇用が生まれた。なお、平成25年度の実践型地域雇用創造事業シンポジウムにおいて、地域資源を活かした発想力や創意工夫の観点から成果物コンテストで、「津堅にんじんロール」は投票数第1位となった。
- また、平成24年度に人材育成事業等として実施した各セミナーにおいても、119名の受講者が就職・創業に繋がった。